

- 1日 ○総務省、12月の労働力調査を発表
完全失業率(季調済)は2.4%で前月(2.5%)から低下
雇用者数(原数値)は5,963万人で前年比100万人の増加
完全失業者数(同)は159万人で前年比15万人の減少、19か
月連続で200万人を下回った
- 厚生労働省、12月の一般職業紹介状況を発表
有効求人倍率(季調済)は1.63倍となり、前月(1.63倍)から
横ばい、都道府県別の有効求人倍率(季調済)は27か月
連続で受理地別・就業地別ともに、全都道府県で1倍を上
回った
雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進む中、求人が求職
を大幅に上回って推移している」とし据置き
- 自販連、1月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数(含む軽)は、40万7,975台で前年比+2.1%
と2か月ぶりのプラス
国内新車販売台数(除く軽)は、24万9,048台で前年比+2.3%
と2か月ぶりのプラス
- 米供給管理協会、1月のISM景況指数(製造業)を発表
総合指数は56.6ポイントと前月(54.3ポイント)から上昇
- 米労働省、1月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比30.4万人増、過去2か月分
は修正(12月分は同22.2万人増に下方修正(△9.0万人)、11
月分は同19.6万人増に上方修正(+2.0万人))
失業率は4.0%と前月(3.9%)から悪化
- 6日 ○米財務省、11月の貿易・サービス収支を発表
貿易・サービス収支(国際収支ベース)は△493億ドルとなり
、前月(△557億ドル)から赤字額は縮小
- 7日 ○内閣府、12月の景気動向指数(CI)(速報)を発表
先行指数は97.9(前月差△1.2ポイント)で4か月連続の低
下、一致指数は102.3(前月差△0.6ポイント)で2か月連続
の低下、遅行指数は103.4(前月差△0.6ポイント)で2か月
ぶりの減少、基調判断は「足踏みを示している」とし据置
き
- 平成30年度第2次補正予算が成立
- イングランド銀行(BOE)、金融政策委員会を開催し、政策
金利の据置き、資産買入れ枠の現状維持を決定
・政策金利を0.75%に据置き
・資産買入れ枠を維持(4,450億ポンド)
- 8日 ○財務省、12月の国際収支状況(速報)を発表
経常収支は4,528億円、前年比△3,437億円(黒字幅縮小)で
54か月連続の黒字
- 総務省、12月の家計調査(二人以上の世帯)を発表
実質消費支出は前年比+0.1%と4か月ぶりの増加、季調済
前月比は△0.1%と2か月ぶりの減少(ともに、調査方法の
変更の影響による変動を調整した推計値)
基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」とし据
置き
- 厚生労働省、12月の毎月勤労統計(17か月連続)を発表
現金給与総額は前年比+1.7%で17か月連続の増加(うち所
定内給与は同+0.7%、所定外給与は同△1.0%、特別給与は
同+2.8%)
- 東京商工リサーチ、1月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は666件(前年比+4.8%)と2か月ぶりの前年比
プラス、負債総額は1,683億円(同+61.0%)、倒産企業の従
業員数は4,487人(同+66.9%)、上場企業倒産は1件
- 内閣府、1月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差△1.2ポイントの45.6となり2か
月連続の減少、先行き判断DIは前月差+1.5ポイントの49.4
となり2か月ぶりの増加
景気現状の基調判断は「緩やかな回復基調が続いているもの
、一服感がみられる。先行きについては、海外情勢等
に対する懸念もある一方、改元や大型連休等への期待がみ
られる」とし表現変更
- 11日 ○英政府統計局、2018年10-12月期のGDP(速報)を発表
実質GDP成長率は前期比+0.2%(前期は同+0.6%)
- 12日 ○日本銀行、1月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年比+2.4%、M3は同+2.1%、広義流動性は同
+1.9%
- 国土交通省、12月の建設工事受注動態統計を発表
公共工事受注額は前年比△18.3%で3か月連続のマイナス
- 13日 ○日本銀行、1月の企業物価指数(速報)を発表
前年比+0.6%となり、25か月連続のプラス
- 米労働省、1月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比+1.6%、前月比△0.0%、食品とエネルギー
を除いたコア指数は前年比+2.2%、前月比+0.2%
- 14日 ○内閣府、2018年10-12月期のGDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は、季調済前期比+0.3%(年率換算+1.4%)
となり、2四半期ぶりのプラス成長
名目GDP成長率は、同+0.3%(年率換算+1.1%)となり、
2四半期ぶりのプラス成長
GDPデフレーターは、同△0.1%となり2四半期ぶりのマイ
ナス、前年比は△0.3%と3四半期連続のマイナス
- 米商務省、12月の小売売上高を発表
総合は季調済前月比△1.2%、過去2か月分は修正(11月分
は下方修正(前月比+0.2%→+0.1%)、10月分は下方修正
(前月比+1.1%→+1.0%))
自動車・建築資材等を除くコアペースは同△1.8%
- 独連邦統計局、2018年10-12月期GDP(速報)を発表
実質GDP成長率は季調済前期比+0.0%となり、2四半期
ぶりのプラス成長
- 中国海関総署、1月の貿易収支を発表
貿易収支は392億ドルと10か月連続の黒字、輸出は2,176億
ドルで前年比+9.1%と2か月ぶりのプラス、輸入は1,784億
ドルで前年比△1.5%と2か月連続のマイナス
- 15日 ○東日本建設業保証会社等、1月の公共工事前払金保証統計
を発表
公共工事請負金額は前年比△4.1%で2か月ぶりのマイナス
- 米FRB、1月の鉱工業生産を発表
生産は季調済前月比△0.6%となり、過去2か月分は修正
(12月は下方修正(同+0.3%→+0.1%)、11月は上方修正
(同+0.4%→+0.6%))
- 中国国家統計局、1月の消費者物価上昇率を発表
総合指数は前年比+1.7%で前月(+1.9%)から伸びが鈍化
- 18日 ○内閣府、12月の機械受注統計を発表
民需(除く船舶・電力)は季調済前月比△0.1%と2か月連続
の減少
基調判断は「足踏みがみられる」とし下方修正
- 国土交通省、12月の建設総合統計を発表
公共工事出来高は前年比△5.6%で、8か月連続のマイナス
- 20日 ○財務省、1月の貿易統計(速報)を発表
輸出は船舶、半導体等製造装置等が減少し、前年比△8.4%
の5兆5,742億円、輸入は原油、石油製品等が減少し、同
△0.6%の6兆9,895億円、貿易収支は△1兆4,152億円で4
か月連続の赤字
- 21日 ○政府、2月の月例経済報告を発表
景気の基調判断を「景気は、緩やかに回復している」とし
据置き
- 22日 ○総務省、1月の消費者物価指数を発表
生鮮除く総合は前年比+0.8%となり、25か月連続のプラス
- 独連邦統計局、2018年10-12月期GDP(確報)を発表
実質GDP成長率は季調済前期比+0.0%となり、速報から変
更なし
- 26日 ○内閣府、平成30年第3回経済財政諮問会議を開催
「次世代型行政サービスの改革」、「地域活性化」等につ
いて議論
- 28日 ○経済産業省、1月の鉱工業指数(速報)を発表
生産は季調済前月比△3.7%、出荷は同△4.0%、在庫は同
△1.5%
基調判断は「生産は足踏みをしている」とし下方修正
- 経済産業省、1月の商業動態統計を発表
小売業販売額は前年比+0.6%で15か月連続の増加、季調済
前月比は△2.3%で2か月ぶりの減少
基調判断は「一進一退の小売業販売」とし下方修正
- 国土交通省、1月の建築着工統計を発表
住宅着工総戸数(原数値)は、67,087戸(前年比+1.1%)と
2か月連続のプラス、季調済年率は87.2万戸(前月比△9.3%)
と4か月ぶりのマイナス
- 米商務省、2018年10-12月期のGDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は前期比年率+2.6%(前期は同+3.4%)
- 中国国家統計局、2月の製造業PMI(購買担当者指数)
を発表
総合指数は49.2ポイントと前月(49.5ポイント)から低下、景
気の拡大・縮小の分岐点である50を3か月連続で下回った
- 東証株価指数(TOPIX)第1部(終値)
月間最高値 1,620.87(25日)
〃 最安値 1,539.40(8日)
- 日経平均株価(終値)
月間最高値 21,556.51円(27日)
〃 最安値 20,333.17円(8日)
- 東京外為市場(ドル・円相場、銀行間直物、17時時点)
月間最高値 108.94円(1日)
〃 最安値 111.07円(14日)